

点検内容を基に順次改修・修繕していく。

町内会組織の運営改善策

原 紀夫 議員

町内会等組織は少子高齢化により人口減少が進んでいる今こそ、お互いに協力していくことが何よりも重要である。

- ① 町内会等の統合はなぜ進まないのか。
- ② 未加入世帯に対し、どのような策を講じているか。
- ③ 職員の新規採用等が多くなってきており、町民との交流面からも地域担当制を考えては。
- ④ 役員のなり手不足が活動を停滞させている面もあるが改善策は。
- ⑤ 活動の支援や助言を行う専門部署の設置や退職職員を採用する考えはないか。

高薄町長

① 自主的な活動の中での



年度始めに行われている町内会長会議では、町からの連絡事項伝達のほか、様々な意見や要望を聴取している。

悩みが表に出てこないため、高齢化により活動が思うようにできない町内会もあると聞いており、積極的な働きかけが必要と認識している。

- ② 転入の際に本人の了解を得て町内会長に連絡しているが、了解が得られなければ難しい。アパートの家主に働きかけてもらうなどしなければ加入は進まない。
- ③ 要望を聞いたうえで職員が出向いた方が町内会

の負担にならないため、気軽に職員を活用できる良い方法を考えたい。

空き家対策特別措置法

原 紀夫 議員

④ 町内会が抱えている問題はどこなのかを抽出して、どういった協力体制をとれば町内会活動がうまくいくのかを共に考えたい。

- ⑤ 現在は町民生活課の住民活動係が担当している。地域おこし協力隊の活用や住民活動のボランティア制度を考え、できるだけ財政の負担にならないようにしたい。

全国820万戸に及び空き家対策の特別措置法が全面施行された。本町の対応や対策について伺う。

- ① 本町の空き家戸数や状況は把握されているか。
- ② 地域の空き家を登録して情報提供する「空き家バンク」の取り組みが盛んに行われているが、本町も取り組むのか。
- ③ 空き家の所有者に撤去や修繕を勧告できるようになったが、該当する空き家はあるのか。
- ④ 町民から苦情のある工場跡地等は、今後どのような対応になるのか。

基幹産業である農業を守るための施策

安田 薫 議員

地域の基本は、家族経営農業である。しかし、TPP、異常気象、消費者の求める安心・安全な農作物の生産、大規模化が進み、農村地域の生産と生活の両面から課題が山積みである。執行方針でも語られているが、具体的に施策を伺う。

- ① 担い手対策として町をあげての婚活を考えると。
- ② バイオマスプラントの計画は。
- ③ 多面的機能支払事業(農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援する事業)の効果に行政の施策をプラスし、



- ④ 町や消防から幾度か話しているが強制的にはできない。今後は条例を制定する中で指導していく。
- ⑤ 現在、該当する空き家はない。勧告は条例を設けなければできないので、できるだけ早く考えていきたい。
- ⑥ 現在、該当する空き家はない。勧告は条例を設けなければできないので、できるだけ早く考えていきたい。
- ⑦ 現在、該当する空き家はない。勧告は条例を設けなければできないので、できるだけ早く考えていきたい。